

平成23年度

家庭学習の手引き

～自ら学ぶ子を育てるために～



潮来市立日の出小学校

家庭学習の習慣と学校での学習内容は、お子さんが将来社会人として自立する上で、どちらも大切なものです。それらをしっかりと身に付けさせるために、ご家庭と学校が同一步調でお子さんの学習を支援することができればとの思いから、この「家庭学習の手引き」を作成いたしました。

お子様の健やかな成長のために、ぜひこの手引きをご一読いただくとともに、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

日の出小学校長 石井 秀実

1 家庭学習の習慣と学校での学習内容が身に付いた児童の姿



2 家庭学習の習慣とは

(1) こんな環境で

- 毎日学習する(できれば同じ時刻に)
- 静かな中で学習する(テレビや音楽は消して)
- 環境を整えて学習する(机の上はきれいに)

(2) こんな内容を

低学年	中学年	高学年
・学校の宿題など	・学校の宿題など ・少しずつ自主学習	・学校の宿題など ・必ず自主学習

(3) これだけの時間

$$\text{学習時間(分)} = \text{学年} \times 10 + \alpha$$

(例) 3年生の学習時間 = 3(学年) × 10 + α = 30分以上

低学年のお子さんの家庭学習のために

めやす 1年生 10分+ α , 2年生 20分+ α

1 ねらい 基本的な学習習慣を身に付けさせましょう

そのためには、まず「早寝早起き」「朝ご飯」「朝のトイレ」など、基本的な生活習慣を身に付けることが第一です。

その上で、家族の近くで、宿題に決まった時間に取り組ませて下さい。分からないことを家族に聞いたり、"できたこと"や"やりきったこと"をほめられることで、お子さんは学習を続けよう意欲が高まってきます。

2 おうちの方のかかわり

- 家庭学習をするお子さんの近くにいてあげましょう。
- まずは毎日続けるよう声かけを。
- 学校からのお便りや明日の準備を一緒に確かめましょう。

3 家庭学習の内容例(宿題にきちんと取り組ませる)

(1)音読

- ・楽しみながら、大きな声で読めるようにします。
- ・「,」「。」に気を付けて、すらすら読めるようにします。

(2)漢字

- ・書き順や字形に気を付けて、ていねいに書くようにします。
- ・正しい姿勢で行うようにします。

(3)計算

- ・まずゆっくり正確に計算し、手順を身に付けるようにします。
- ・次に、少しずつ早く計算できるようにします。
- ・まちがったら必ずもう一度取り組むようにします。

(4)日記,絵日記

- ・楽しかったことやうれしかったことなどを、自分の言葉で表現するようにします。

中学年のお子さんの家庭学習のために

めやす 3年生 30分+ α , 4年生 40分+ α

1 ねらい 自主的な学習習慣を育てましょう

自立心が芽生え、自分の力でやろうとする気持ちが出てきます。
一方で、「急に勉強がむずかしくなった」、「学習内容が分からない」という戸惑いや苦手意識をもつ子どもが増えてくるのもこの時期が多いようです。
そんな子どもの気持ちに向き合って、ていねいに支援したり励ましたりすることが、自主的に取り組む態度につながります。

2 おうちの方のかかわり

- 低学年同様、毎日続けるよう声かけを。
- よく話を聞いて、お子さんの苦手意識に共感を。
- 自分から進んで学習する姿を、賞賛してあげてください。

3 家庭学習の内容例

(1) 読書

- ・音読では、声を出して正確に読むことができるようにします。
- ・宿題以外にも、いろいろな種類の本を選んで読むようにします。

(2) 漢字

- ・書き順に気を付けて、正確に書くようにします。
- ・とめ、はね、はらいに気を付けて、くり返し練習するようにします。

(3) 言葉

- ・国語辞典や漢字辞典を活用し、使い慣れるようにします。

(4) 計算

- ・かけ算やわり算を中心に、正しい手順で計算できるよう、くり返し練習するようにします。
- ・三角定規や分度器、コンパスを使った正確な作図や測定の方法も、くり返し練習するようにします。

(5) その他

- ・自分の苦手な内容をくり返し練習するようにします。
- ・日記や作文に、出来事や物語、自分の考えなどを表現するようにします。
- ・社会科や理科で学んだ内容をもとに、さらに深く調べるようにします。

高学年のお子さんの家庭学習のために

めやす 5年生 50分+ α , 4年生 60分+ α

1 ねらい 自主学習の習慣を身に付けさせましょう

この時期は、自ら学習計画を立てたり、やりたいことを自分から見つけて取り組むことができるようになります。その一方で、夜遅くまで起きているなど生活習慣に変化が見られるようになります。生活の乱れは学習習慣にも影響を及ぼすことがあります。

そんな子どもの成長や変化をとらえ、温かい見守りを基本としながらも、がんばりを賞賛したり、学習・生活態度の乱れを毅然と指導したりすることが、自主学習の習慣の定着につながります。

2 おうちの方のかかわり

- 中学年同様、毎日続けるよう声かけを。
- 家庭学習中の、テレビや音楽、(あれば)携帯電話の禁止を再確認。
- "結果"はもちろん、それ以上に"努力"を続ける態度への大きな賞賛を。

3 家庭学習の内容例

(1) 読書

- ・音読では、様子や登場人物の気持ちが分かるように、感情を込めて読むようにします。
- ・宿題以外にも、いろいろな種類の本を選んでたくさん読むようにします。

(2) 漢字

- ・漢字の構成(へんやつくり等)、熟語に練習するようにします。
- ・習った漢字を使って短文を作るようにします。

(3) 言葉

- ・国語辞典や漢字辞典を活用し、使い慣れるようにします。

(4) 計算

- ・計算力向上に向け、間違えた計算にくり返し取り組むようにします。
- ・自分で答えを確かめて○つけをし、なぜ間違ったのかを考えるようにします。
- ・次の日の学習内容を予習するようにします。

(5) その他

- ・学校での学習をふり返り、教科書やノート、プリント、問題集を使ったりして学習内容をしっかりと身に付けるようにします。
- ・日記や物語文、意見文などを、構成に気を付けて表現するようにします。
- ・社会科や理科で学んだ内容をもとに、さらに深く調べるようにします。
- ・インターネットを活用し、広く深く理解するようにします。